

科目コード 125601a

配当学年 2・3・4

科目名 東アジア文化論

教員名 古田 富建

**【授業の到達目標】**

隣国(中国・朝鮮半島)との思想的(主に儒教と漢字)な共通点や違いについて理解できる。

**【授業のテーマ】**

日本、中国、韓国の東アジアに共通する文化ツールである「儒教」と「漢字」に焦点を当てて、その受容の仕方や文化的な形成や発展の共通点や違いを解説する。

**【授業概要】**

日中韓は「東アジア文化圏」と呼ばれる漢字を1つのツールとしながら儒教を取り入れたエリアとして規定できる。日中韓の共通項ともいえる漢字とはどんな役割をしたのか、そしてその漢字を通じて伝わった「儒教」とは何かを解説し、儒教の三国の受容の仕方や違いを探る。

また儒教とは決して古めかしい伝統思想ではなく東アジアにおいては現在も文化に強い影響を与えている思想である。東アジアにおける儒教の現在にも迫る。儒教と現代中国とのかかわりに関するDVDなども視聴する。

**【準備学習】**

日本の文化について日ごろから関心を持っておく。

韓国、中国に関して日ごろから関心を持ちニュースなどを意識的に触れること。

**【授業計画】**

- 1.オリエンテーション
- 2.(東)アジアとは何か?
- 3.漢字という文明伝達ツール
- 4.礼を通じた文明圏(朝貢・冊封システム)
- 5.儒教とは何か?
- 6.科挙システムと学習熱
- 7.中国の儒教
- 8.朝鮮半島の儒教
- 9.日本の儒教
- 10.儒教の担い手について
- 11.儒教の家族制度
- 12.儒教の祭祀儀礼について:死生観
- 13.現代社会と儒教:韓国を中心に
- 14.現代社会と儒教:東アジアを中心に
- 15.まとめと到達度の確認

**【評価方法】**

到達度の確認(50%);持ち込み不可

小レポート(20%)

リアクションペーパー(30%)

**【テキスト】**

使用せず

レジュメを配布する

(テキスト ISBN)

**【参考文献】**

適宜授業中に紹介する

**【オフィスアワー】**

追って知らせるが、メールなどで事前にアポイントを取ること

**【学生へのメッセージ】**

私語や意図的な居眠り、携帯いじりなど教員、他の受講生の授業の妨げになる迷惑行為に関しては厳しく対応する。

韓国語・韓国文化専攻で卒業論文を書こうと思っている学生は積極的に履修すること